

病院理念

『より質の高い 心あたたまる医療の実現』

基本方針

1. 患者様の人権を尊重し、十分な説明と同意のもとに安全で良質な医療をめざします。
2. 地域の基幹病院として医療機関との連携を促進し、地域医療の向上に努め、地域住民の健康維持に貢献します。
3. 救急医療と小児医療及び周産期医療の充実を図り、地域住民が安心できる医療を提供します。
4. 自治体病院として公共性を保ち、効率的な病院経営に努めます。
5. 職員は専門職としての誇りと目標を持ち、常に研鑽して知識と技術の向上に励み、チーム医療を推進します。
6. 働きがいのある職場として環境を整備し、明るい病院づくりをめざします。

院内広報誌『ふれあい』

患者様ならびにご家族の方々に病院をよく知っていただき職員と患者様の交流の場となる誌面をめざしています。

千歳市北光2丁目1番1号
市立千歳市民病院
編集長 能中 修
事務局 総務課総務係
0123-24-3000(内線 232)



『 より質の高い、
心あたたまる医療の実現のために 』

病院機能評価(Ver.5)の認定を受けました

千歳市民病院では、安全で安心して医療が受けられる病院であることを目指して、昨年10月25日～27日までの3日間にわたり第三者機関である財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の訪問審査を受審し、同機構の評価委員会における厳正な審査を経て、昨年12月18日付で認定を受けました。このことは、市民病院が患者さん本位の医療を行うための一定の基準を満たしていることが認められたものです。



病院選びの現状

「安心して質の高い医療が受けられる病院にかかりたい」というのは、患者さんにとっては当然のことと思いますが、いざこの病院にしようかというときに選ぶ基準や情報は意外に少なく、口コミやテレビ・雑誌などもたくさん紹介されていますが評価の基準はまちまちです。

そこで、病院組織の機能という面から、病院の質を客観的に評価しようという取り組みが病院機能評価です。

財団法人日本医療機能評価機構とは

医療への信頼と質の向上を目的として、厚生労働省や日本医師会などの医療関係団体が出資して1995年に設立された第三者機関で、医療施設の機能を学術的な観点から中立的な立場で評価しその改善を支援します。

病院を対象にした認定事業である病院機能評価は1997年から開始され、審査を行うサバイバーの養成や同事業の普及・啓発、評価方法の研究・開発事業を行なっています。

近年では診療ガイドラインの開発や医療事故防止センター事業を開始するなど、その活動範囲が拡大しています。

国の医療費削減を柱とした制度改革を背景に病院の経営努力が一層求められている中、患者さんが主体的に医療へ参加するためにも、医療の情報開示や客観的評価はより重要になっており、共通のモノサシである同機構の役割が注目されています。

病院機能評価とは

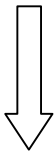
財団法人日本医療機能評価機構が、書面審査と病院長や看護部長、事務部長などを5年以上勤めたことのある医療に精通した複数のサーベイヤーと呼ばれる調査者による訪問審査を行い、病院に必要とされる評価項目すべてが一定の基準を満たすと認められた医療施設に認定証が交付されるものです。

一方、一つでも基準に達しない場合は、同機構の指導のもとさらに改善を進め、再度審査を受けることとなります。

評価方法は

事前に提出した書面調査書による審査での分析を参考とし、訪問審査では診療、看護、事務管理それぞれの視点から、4名のサーベイヤーが当院がどのような水準にあるのか3日間かけてじっくりと審査しました。

<書面審査>



訪問審査前に提出する書面調査書により、あらかじめ病院機能が分析されます。書面調査書は「病院機能現況調査」と「自己評価調査」から構成されます。

「病院機能現況調査」

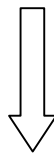
- ・施設調査票 ~ 病床数や患者数、職員数等
- ・部門別調査票 ~ 各部門の設備や機能等
- ・経営調査票 ~ 対応可能な医療の範囲等
- ・診療機能調査票 ~ 医業収支や人件費の状況

「自己評価調査」

- ・ 5 3 2の評価項目についての病院自らの評価

<訪問審査>

書類確認



手術の手順書や院内感染対策マニュアル、医療事故を防ぐ会議の議事録などファイルにして286冊を整備しました。

- ・適切に保管されているか
- ・内容に不備はないか
- ・定期的に見直されているか など
- ~スタッフが情報を共有し活用できるしくみが整っていることがポイントです~

面接



院長や幹部職員はもとより各部署のスタッフなど多くの職員が対象となりました。

- ・病院の基本方針、地域における役割や安全管理の取り組みなどについて次々と質問が投げかけられました。

部署訪問

実際に適切な医療が行われているか、病院内をくまなく点検しました。

- ・安全管理の体制が整っているか。
- ・院内感染対策が充分であるか。
- ・診療の経過が診療録に適切に記載され保管されているか。
- ・点滴や薬を間違えないよう情報管理がされているか。
- ・手術、検査に必要な設備や薬剤などが適切に備わっているか。
- ・指示出し指示受けなど情報の伝達が確実に行われているか。
- ・患者さんへの接遇対応が訓練されているか。
- ・医療廃棄物が正しく処理されているか。 など

評価項目は

6つの専門領域にわたる532に及ぶ評価項目があり、患者さんに満足していただける医療サービスを提供するための、病院として必要な機能すべてが網羅されていると言われていいます。また、病院側には画一的な対応だけでなく、それぞれの病院の役割・機能に応じた患者さんの視点に立った運用や工夫が求められます。

第一領域 病院組織の運営と地域における役割

第二領域 患者の権利と安全確保の体制

第六領域 病院運営管理の合理性

第三領域 療養環境と患者サービス

第五領域 医療の質と安全のためのケアプロセス

第四領域 医療提供の組織と運営

病院機能評価のメリット

千歳市民病院に必要とされる532の評価項目の改善を進めるプロセスの中で、組織体としての病院機能の一層の充実と医療サービスの向上が図られるとともに、職員の自覚が促されます。

また、評価の結果明らかになった課題や問題点を解決することで、病院の質の客観的な改善が行われ、患者さん本位の医療を推進することができます。

さらに、医療に精通した第三者の評価による認定により、病院の信頼性が高まり、「患者さんに安心して受けていただける医療」、「安心して選んでいただける病院」づくりにつながるなど、さまざまなメリットがあります。

具体的にはどのようなメリットが

病院機能評価に取り組むことにより、たとえば次のような病院機能をより一層高める改善が図られました。

医療事故防止に関して

小さな出来事でもそれが大きな医療事故につながる可能性があります。千歳市民病院では医療を行う過程で患者様に傷害が発生した場合はもとより可能性があった場合などにも関係職員は報告書を作成し多職種で構成する安全管理委員会に報告しています。委員会では原因の究明と予防策を検討し院内に周知していますが、より実効性をもたせるために部会を設置し各部署ごとの活動を充実させたほか、安全管理に関する数多くの手順書をすべて徹底的に見直し整備しました。こうした、医療事故を未然に防ぐための活動が継続して実施されています。

説明と同意の適切な実施に関して

医療行為においては、患者様の人権を尊重するとともに、患者様の理解を得ながら十分な説明と同意の手続きを円滑に進めることが求められます。これまでもこれらに必要な説明と同意書はありましたが、様式・文章表現等を全面的に改め、院内共通の統一様式として治療や検査別に96の説明と同意書を新たに整備するなど、よりきめ細やかな信頼される医療が行えるように改善しました。

こうした手順は適宜見直され、すべての患者様が同じ医療サービスを受けられるよう改めて整備されています。

認定を受けている病院数

病院機能評価への取り組みの効果に対する意識の広まりで、現在、認定病院は全国で2,000を超えています。

【平成19年1月22日現在】

	病院数	認定病院数	認定率
全国	9,014	2,299	25.5%
全道	633	111	17.5%
道内市立病院	27	9	33.3%

難関、バージョン5での認定

病院機能評価の評価項目は、医療技術の進歩や患者の要求の変化に応じ一定時期にバージョンが見直され、評価の基準が年々厳しくハードルが高くなってきており、千歳市民病院が受審した最新のバージョン5での初回審査認定率は17%という難関でしたが、初回で認定を受けることができました。

道内の認定市立病院のうちバージョン5での認定は市立函館病院に次ぎ、当院が2院目となります。

市民病院職員一丸となった取り組み

平成16年6月の院長によるキックオフ宣言（受審準備開始の宣言）とともに、院内に準備のための委員会として院長をはじめ管理職相当職員により構成する医療機能向上委員会と、改善を機動的に進めるため実働チームとして専門領域ごとの6つの部会を設置するなど認定に向けての取り組みを開始しました。

それから約2年間にわたり、延べ97回に及ぶ医療機能向上委員会と部会をはじめ、ほぼ毎月開催される39の各種委員会活動、その他症例などについての検討会議の開催などを通じ改善が進められました。

すべての評価項目をクリアすることを目標に、粘り強く一つ一つの項目について検討を重ねながら、職員が一丸となり精力的に改善を進めてきました。こうした会議は診療終了後に行われますが、時には3時間以上に及ぶ議論が交わされることもありました。

その結果、組織や基本方針・手順の見直し、286ファイルにおよぶマニュアル等が整備されるとともに、医療機能の改善に向けた実践と定着はもとより、多職種にわたる職員の情報の共有や意識の向上が図られました。

安心して医療が受けられる病院

今日の医療をとりまく情勢は、高齢化や疾病構造の変化、医療制度改革の進展により求められるものが高度化・多様化しており、国民の保健医療に対する関心がますます高まっています。

このような時代の要請に応えるものとしても、安全で安心して医療が受けられる病院づくりにつながる病院機能評価の認定はたいへん意義のあることと考えます。

千歳市民病院では、今後とも、さらなる「より質の高い 心あたたまる医療の実現」を目指し、継続して取り組んでまいります。



記事に関するお問い合わせは・・・

市民病院事務局経営企画課 ☎24-3000 内線 294

< 健康ワンポイント >

今回は内科 濱田医師による「血液で診断：結核の新しい診断法クオンティフェロン」です。

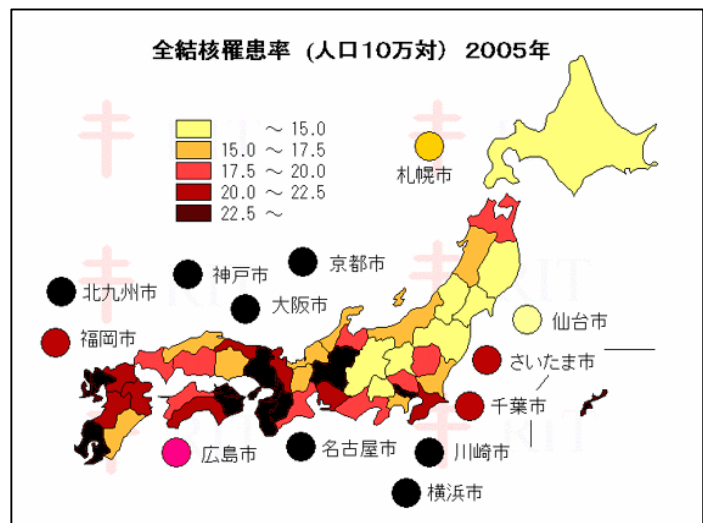
結核は古くて新しい感染症といわれます。昭和の初期には年間17～18万もの人たちが結核で命を落とし、そのほとんどが10歳代～30歳代の若者でした。今でも高齢の方たちが「結核」という言葉に特別な恐ろしさを感じるのは、無理からぬことなのです。戦後、日本の急速な経済発展にともなって日本人が裕福になり、栄養状態や衛生環境も良くなり、新しい強力な結核治療薬が登場するにつれて、結核は急速に「過去の病気」になってしまいました。しかし、今でも毎年全国で2000人以上が結核で亡くなっているという事実は、結核が決して「過去の病気」ではないことを物語っています。



結核の診断は胸部レントゲン写真、喀痰検査などが主体ですが、いつもすっきり診断できるとは限りません。とくに医療上問題となるのは、結核患者に接した人が結核に感染したかしていないかを判定することです。胸部レントゲン写真で影もない、痰も出ないという状況で、従来、ツベルクリン反応(ツ反)がほとんど唯一の診断方法でした。問題は、ツ反には疑陽性や疑陰性がけっして少なくないということです。

ツ反とは何かというと、わが国ではヒト型結核菌青山B株という結核菌を培養してそれを殺菌濾過、いくつかの処理過程を経て得られた凍結乾燥粉末をもとに精製液をつくり、それを皮下注射して反応を見るというものです。結核に感染していたら免疫反応で赤く腫れる、その腫れ具合で陽性、強陽性などと判定するわけです。ところが、ツ反液の成分は元々人体にとっては異物ですから、アレルギー反応を引き起こすことも多々あり、赤く腫れたのが結核に対する免疫反応なのか、単なるアレルギー反応なのか区別がつかないということになります。私のように呼吸器疾患にたずさわる医師は、ツ反のもつこのあいまいさに悩まされ続けてきました。

しかし、2006年夏に保険診療認定されたクオンティフェロンという検査はこの悩みをいっきに解決する画期的な方法です。クオンティフェロンは血液検査です。結核菌に特有なタンパク成分2つを含んだ試薬で、血液中のリンパ球という免疫に関わる白血球を刺激します。結核に感染していればリンパ球は試薬を結核菌と判断して、短時間で増殖してインターフェロンガンマというタンパクを作り出します。このインターフェロンガンマの量から陰性が陽性を判定します。採血して数日で結果が出ます。クオンティフェロンの結果はツ反とは比べものにならないほど信頼性が高いのです。この検査の費用は3割負担で1230円とちょっと高いのですが、値打ちは十分です。今年の1月、当院でもクオンティフェロンのおかげで2人のかたが「結核」から救われました。これからはツ反とクオンティフェロンを上手に組み合わせた結核診断方法が主流になるだろうと考えています。



< 職員紹介 >



産婦人科 **津村 典利** つむら のりとし

札幌医科大学・医学部 S56年卒

日本産婦人科学会認定医、産婦人科全般（女性内分泌、不妊、更年期）

西洋医学的治療だけでは今ひとつという時に漢方を使用して患者様に満足していただくよう勉強しております。昔やった“ハリ”にも再び興味がわき50の再手習いをしようと思っています。

* 現在、産婦人科担当医師の名字が同じです。診療予約の際はご注意ください



< ナースのお仕事 >

今回は救急外来の看護師・桑原 百恵さんです。

救急外来は、平成14年の9月に病院の新築移転時に独立し、私はその時に配属となり、まる4年が経ちました。以前より様々な救急時の対応などについて学びたいと思っていましたので、良い機会に恵まれたと思っています。

救急外来では、患者さまや御家族と接する時間が短いことが多く、背景を瞬時に把握し対応していくことが難しいと感じることがあります。休日・夜間の院外からの電話対応もその中の一つで、何科のどのような患者さま・御家族からなのか？診察希望なのか？相談なのか？緊急を要するのか？対応に戸惑うこともあります。

私達は、救急外来での対応の他に、緊急の脳や心臓カテーテル検査の介助、緊急内視鏡の介助も行っており、常に声を掛け合いチームワークを大切にしながら仕事をしています。

どのような時でも患者さま、御家族に安心できる言葉がけと迅速な対応ができるよう心がけています。また、救急外来は幅広い知識と技術が必要な職場です。これからも医師・病棟・他部門のスタッフと良い連携を取りながら自己研鑽に努めていきたいと思ひます。



編集後記

今年の冬は千歳市内の降雪量が少なく、例年の雪かきから開放されて嬉しいのですが運動不足みでちょっと体が重たいです。前回16号のふれあいで「冬は運動不足になりやすいです、皆さん運動しましょう！」とっておきながら.....

暦ではもう“春”ですが北海道ではまだまだ寒い日が続きます。昨年この時期にインフルエンザが流行しました。風邪対策を怠らず、外から帰ったら「うがい」「手洗い」忘れずにしっかり行いましょう！！

臨床検査科 〇



患者様の権利と責任

当院では、より質の高い心あたたまる医療を実現するために、『患者様の権利と責任』を定めています。

1 医療を受ける権利

どなたでも公平に、安全で適切な医療を継続して受けることができます。

2 知る権利

ご自分の病気や検査、治療方法について、理解し納得できるまで説明を受けることができます。また、ご自分のカルテの開示を求めることができます。

3 自分で決定する権利

十分な情報提供を受けたうえで、ご自分の意思により同意や選択、拒否ができます。また、他の担当医や他の病院を選ぶことができます。

4 プライバシーの権利

診療の過程で得られた個人情報や病院内での私的なプライバシーが保護されます。

5 参加と協力の責任

これらの権利を守るため、患者様には医療従事者とともに医療に参加し、協力することが求められます。

現在の病状や過去の治療歴について、できるだけ正確に教えてください。
検査や治療は、必要性和安全性を十分理解したうえで受けてください。
他の患者様の権利を尊重し、職員の業務に支障をきたさないよう、病院内のルール・マナーを守ってください。

検査や治療のためにかかった医療費はお支払いください。

医療人の育成にご理解のうえ、ご協力をお願いします。

市立千歳市民病院 院長

『患者様の権利と責任』について、何かご意見がありましたら承りますので、ご遠慮なく医師、看護師、その他の職員もしくは【患者様相談窓口：1階医事カウンター 番窓口】までお知らせください。患者様からいただきましたご意見を尊重し、日常の診療の改善に役立てたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

< 健康診断受けませんか? >

「広報 ちとせ・1月号」にも掲載されていましたが、市民病院では、個人向けの短期人間ドック・成人病健診・一般健診を4月13日(金)まで期間限定の特別料金で受け付けております。

完全予約制で受け入れ人数にも限りがありますので健診希望日の1週間前までには申し込みをお願いいたします。健診希望の方は当院2階健診センターへ直接お問い合わせください。

気になる自己負担ですが下記のとおりとなっております。なお、4月16日(月)以降は通常料金となりますのでご了承ください。

市民病院健診センター 0123(24)3000 内線270

健 診 内 容

- ・ **一般健診** 検査料金：6,000円(通常料金 約1万円)
総合診断、聴力検査、胸部レントゲン検査、心電図、尿検査、血液学的検査、生化学検査(7項目)
- ・ **成人病健診** 検査料金：15,000円(通常料金 約2万円)
総合診断、聴力検査、胸部レントゲン検査、心電図、尿検査、血液学的検査、生化学検査(10項目以上)、便潜血検査、胃部検査(胃カメラまたは胃バリウム)
- ・ **短期人間ドック** 検査料金：20,000円(通常料金 約3万円)
総合診断、聴力検査、胸部レントゲン検査、心電図、尿検査、血液学的検査、生化学検査(10項目以上)、便潜血検査、胃部検査(胃カメラまたは胃バリウム)、腹部エコー検査、肺機能検査、眼底検査(両眼)、肝炎・リウマチ血液検査



< 耳鼻咽喉科・外来診療変更のお知らせ >

工藤医師の退職に伴い、平成19年1月からの診療日程等が変更になっています。下記と異なる場合もありますので、電話等でご確認をお願いいたします。

診療時間のご案内

	1月から	月	火	水	木	金
午前	8:00~11:30	田中医師	-	-	-	-
午後	12:00~15:00	-	大学医師	-	大学医師	大学医師

